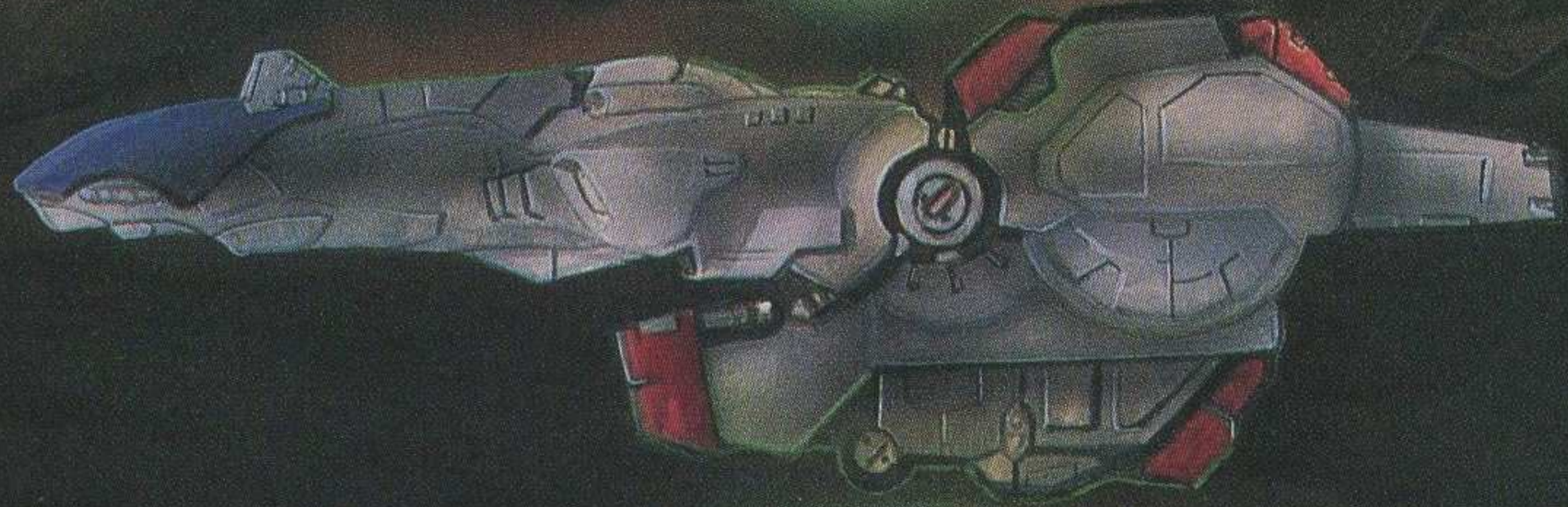
HE system
PC Engine

SUPER CD-ROM² SYSTEM



RAYXANBER III

このたびは、「**DATA WEST**」のCD・ROMディスクをお買い上いただきまして、誠にありがとうございました。ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しい使用法でご愛用ください。

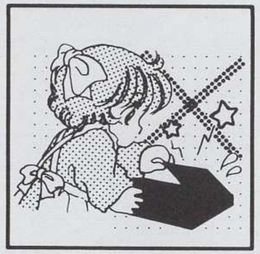
●SUPER CD・ROM²ソフト使用上の注意



①PCエンジン、CD・ROM²などハードの接続及び動作方法に関しましては、各機器に付属の「取扱説明書」を必ずご熟読の上ご使用ください。



②CD・ROMディスクには、表と裏があります。必ず、レーベル面(ゲームタイトル等が印刷されている面)を上にしてセッティングしてください。



③ゲームプレイ中に、CD・ROM²プレーヤーのふたを開けることは絶対にお止めください。正常なプレイが出来なくなり本体を痛める場合があります。



④また、ゲームプレイ中に、CD・ROM²本体に振動を与えることは、お止めください。正常にデータが読み込みできなくなり、誤動作する場合があります。

このCD・ROM²ディスクは、「**SUPER CD-ROM²**」専用ソフトです。従来の「**CD-ROM² SYSTEM**」では動作いたしませんのでご注意ください。動作させるためには、「**SUPER SYSTEM CARD**」が必要です。

※CD・ROMディスクは、音楽用CDプレーヤーでは、使用しないでください。コンピュータ用データがオーディオ機器に悪影響を及ぼす場合があります。

※万一製品に当社の責任による不都合がありました場合、新しい製品とお取り替えいたします。

オペレーション

ゲームレベル・セレクト

タイトル画面の時にRUNボタンを押すとレベルセレクトモードになります。難易度には以下の2種類があります。

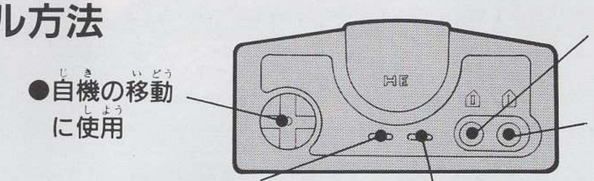
STANDARD 通常のゲームモードです。

MANIAC 高難易度のゲームモードです。

ゲームスタート

レベルセレクト画面の時にさらにRUNボタンを押すとゲームが始まります。

コントロール方法



方向キー

自機の移動に使用。8方向に移動可能です。

Ⅰボタン

オーバー・ブーストに使用。方向キーと組み合わせる事で、任意の8方向に自機を加速させる事ができます。移動距離はボタンを押している時間で、ある程度まで制御できます。

ただし、画面下のヒートメーターがレッドゾーンに突入している間は使用できません。(ヒートメーターは自動的に回復します)

Ⅱボタン
自機ノーマル弾、及びバックアップ弾のオート連射を行います。また、ボタンを１秒程度押し続けると連射状態においてもエネルギーチャージが行われ、チャージ完了後特殊装備「雷斬牙システム」が使用可能になります。攻撃準備が整うと画面下のエネルギーゲージが黄色く点灯します。(ジョイパッドの連射スイッチはオフにして使用して下さい)

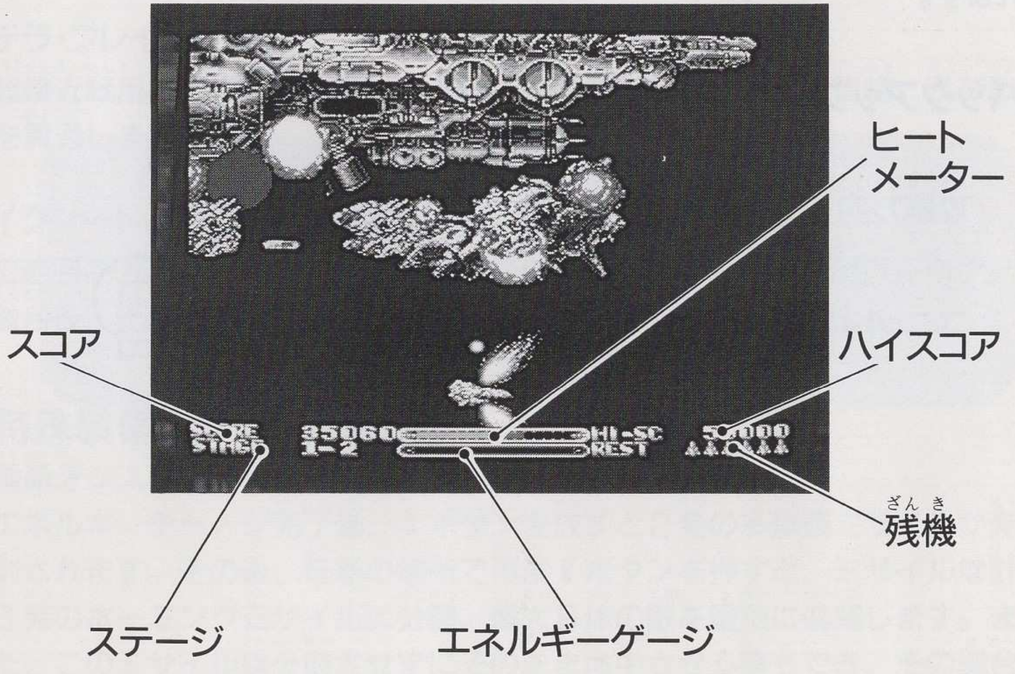
RUNボタン
ゲームスタートに使用。ゲーム中はポーズボタンとして使用します。

SELECTボタン
ゲーム中、RUNボタンと同時に押すとリセットがかかります。

ステージクリア
このゲームは全６ステージで構成されています。各ステージはステージラストにいるガードデバイスを破壊する事でクリアできます。ステージ１のみ母艦ドライアッドをステージエンドまで護衛し、さらにガードデバイスを破壊する事でクリアとなります。

ゲームオーバー
自機は最初３機でスタートし、５万点ごとに１機ずつ増えていきます。敵や地形に接触したり、敵の出す弾に当たると自機は破壊されます。自機がすべて破壊されるとゲームオーバーになります。

コンティニュー
ゲームオーバー後、画面には「NEW GAME」と「CONTINUE」という文字が表示されます。「CONTINUE」を選ぶとゲームオーバーになった面からゲームを再開する事ができます。また、「NEW GAME」を選ぶとタイトル画面に戻ります。

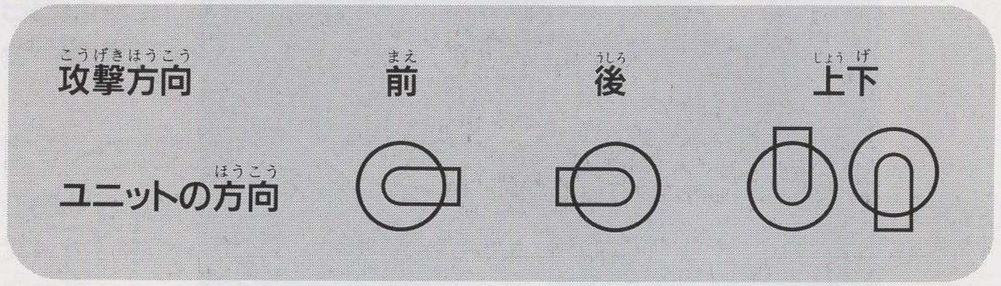


パワーアップ

バックアップ・ユニット

自機はバックアップ・ユニットを装着する事により、パワーアップ(1段階のみ)が可能です。ユニットは、自機に似た白いアタックデバイスが保有しています。
ユニットは出現後、時計回りに上から回転を始めます。特殊弾はバックアップ・ユニットを装着した時に、ユニット本体の向いていた方向に発射されます。

バックアップ・ユニットによる攻撃方向の選択



ユニットの種類

バックアップ・ユニットは3種類あります。それぞれ違う性質を持っているので、ステージに応じて使い分けて下さい。(　)内はユニットの色です。

インパクト・ブラスター(黄色)

加速するビームが発射されます。ビームの破壊力はスピードに比例して上昇します。

テラ・フレイム(赤色)

超接近戦用の火炎型貫通兵器です。地形を含んだすべての障害物、及び敵を貫通します。

イクシード・プレッシャー(緑色)

広範囲をカバーする4発の光球が円状に発射され、2発ずつ融合します。融合後、光球の軌道は自機の上下移動で制御する事ができます。

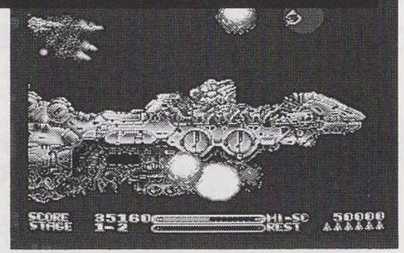
特殊装備

雷斬牙システム(ライザンバー)

エネルギーチャージ完了後、Ⅱボタンを放すと2発の多弾頭ミサイルが発射されます。その後、任意の場所で再度Ⅱボタンを押すと、ミサイルは計8発のホーミングミサイルに分裂、最大8体の敵を個別に追尾します。また、このミサイルは分裂させずにそのまま命中させる事もでき、その場合の破壊力は自機ノーマル弾10発分に相当します。

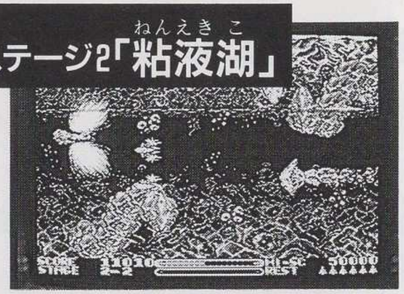
ステージ

ステージ1「ドライアッド」



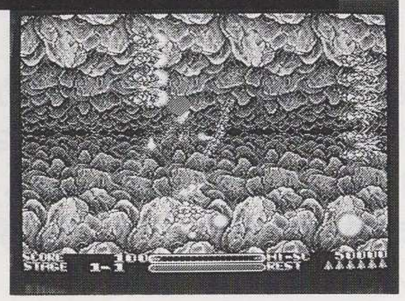
1.5画面分の大きさを持つ自機母艦、「ドライアッド」を護衛するステージです。ドライアッドは独立したHPを持っており、敵の攻撃によりそれが0になると自機を巻き込み爆散します。なお、ドライアッドからは自機に対する援護射撃があります。ガードデバイスは「魄駭冂嵎」。

ステージ2「粘液湖」



「魄駭冂嵎」によって変造された空洞に、ステージ2のガードデバイスが分泌する粘液が流込み出来上がった地底湖が舞台です。自機が粘液に浸かると移動スピードが落ちます。
ガードデバイスは「霎甲濮卍瓷」。

ステージ3「悠龠鼾芝」



ステージ2の粘液により浸食された崖の上で、4本脚の雄型ガードデバイスと戦うステージです。ステージエンドにはつがいの雌型ガードデバイスがいる為、計2体のガードデバイスと戦わなければなりません。
ガードデバイスは雄型の「虎蚜悠龠鼾芝」と雌型の「鱟瑁悠龠鼾芝」。

ステージ3の岩場に根を張り巡らしていた巨大植物の中を進むステージです。植物は完全に石化していますが、至る所にアタックデバイスによって喰い広げられた穴が開いています。自機は移動可能範囲が極端に狭いその穴の中を通過する事になります。ガードデバイスは「瓏閔黽罔弓夲廾」。

ステージ4「石化窟」



「瓏閔黽罔弓夲廾」の体内で戦うステージです。ステージは逆スクロールしており、巨大な肉腫が自機を追って来ます。肉腫内部にはアタックデバイスが寄生しているので、自機は前後からの攻撃に対処しなければなりません。ガードデバイスは「擂槞狙兮嘗苡匚夫」。

ステージ5「腐食肉腫」



「瓏閔黽罔弓夲廾」の体内から脱出した自機を待っていた者は、ゾウル・アルティメイト・デバイス。ガードデバイスとの戦闘のみのボスステージです。このステージは自機の移動によって画面が任意にスクロールします。

ステージ6「ゾウル」最終面



ストーリー

ガーラ・ジ・ドーメン破壊！ゲレン甲殻によって築かれた侵攻トンネルをくぐり、地表への30kmを疾走するエリミネート・スキャナーAd。膨れ上がる原子の炎を振り切りデッドラインを突破する。そのさなか、パイロットは見た。秒速200mで流れ去るゲレン甲殻に守られ、増殖を続ける「奴」を……

生き残ったゾウルの幼生は地脈から吸い上げたエネルギーを用い成長、惑星そのものを変造する。しかし、増殖を停止したその時こそが、具現化された虚無と決別する最後の勝機。

新たに「雷斬牙システム」を搭載し、母艦「ドライアッド」から出撃する「ES3 ドナー・カイル」。逆転確率0の悪夢に今、挑む。

CD-ROMディスク●保管上の注意

COMPACT disc



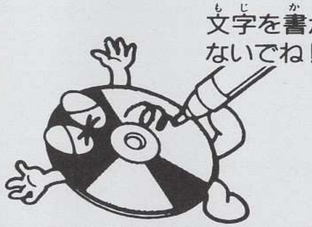
●信号読み取り面（レーベル面の反対側の光った面）を汚さないように注意してください。汚れた場合は、やわらかい布で、中心部から外周部に向かって放射状に軽く拭きとってください。





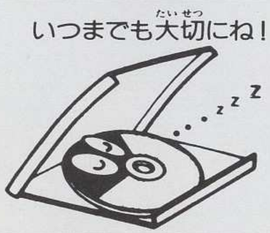
●CD-ROMディスクにキズをつけないようにしてください。ケースからの出し入れの際は、こすりキズをつけないよう、特に注意してください。



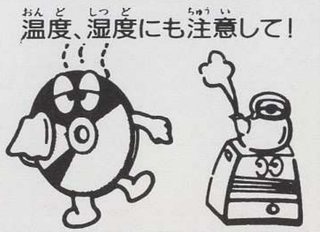


●レーベル面に、鉛筆やボールペンなどで文字を書いたり、シール等を貼らないでください。読み取り面にキズをつける恐れがあります。CD-ROMディスクを曲げたり、センター孔を大きくしないでください。

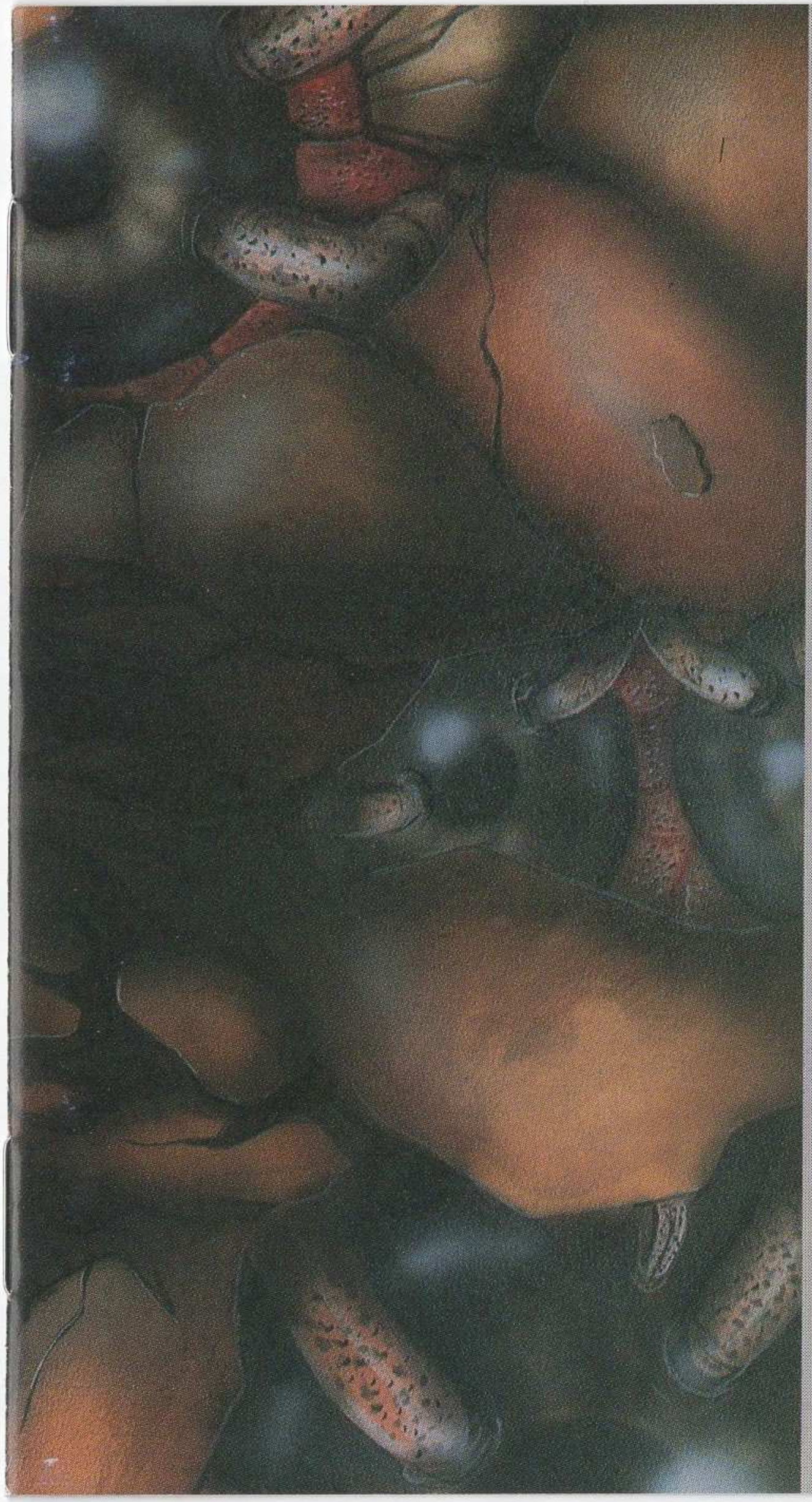




●プレイ後は元のケースに入れて保管してください。また、CD-ROMディスクは、高温、高湿の場所には保管しないでください。



※このディスクを無断で複製すること、及び賃貸業に使用することを禁じます。



DWCD2002

DATA WEST

©1992 DATAWEST inc.

MADE IN JAPAN.